

マメトラスーパーリターン SRV4F. SRV4FX SRV4FA. SRV4FAX



取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



当製品を安全に、また正しくお使いいただく
ために必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず保存してください。

マメトラ農機株式会社

はじめに

この度は、数ある機械の中からリターンカルチをお買上げ頂き誠にありがとうございます。

本機は小型耕耘機の専門メーカーとして永い歴史を持つ当社が、果実園・桑園の中耕除草から野菜畑、大豆の中耕培土、イチゴ、ハウス内の床作り・畝間作業とアタッチメントを替えることにより、それぞれの作業にご満足頂ける様に設計され、最新の設備と材質によって作り上げた万能機です。

強馬力でしかもご婦人の方でも手軽に使えて、今迄にない数々の特長のある作業と安定性は皆様にご満足頂けるものと確信致しております。

お買上げいただいたリターンカルチを能率よく上手にお使いになり、長く寿命を保持していただくためにご使用前にこの説明書をお読み頂いて正しい使用と手入れをして頂く様お願い致します。

また、当社では本機・作業機とも引き続き不断の研究を重ね、一層能率良く作業をして頂く様努力しております。従って一部造改造することもあり、本説明書と多少の差異が生ずる場合もありますので、あらかじめご承知下さる様お願い申し上げます。




- ・ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店又はお近くのマメトラ特約店・販売店にご相談ください。

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼って下さい。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

- | | |
|---|---|
|  危険 | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
|  警告 | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
|  注意 | その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

サービスと保証について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

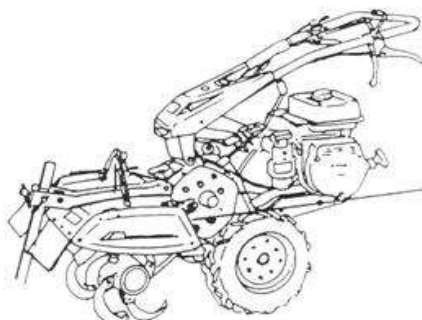
機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合はエンジン番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

☆補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期および価格についてご相談させていただきます。



農業機械の種類	農用トラクター(歩行型)
型式名	マメトラSRV4D
区分	SRV4F
エンジンの型式	GM・23HLX-350
機体番号	

製造・販売元 マメトラ農機株式会社

(参考例)

☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失・破損した場合コードNo. M81-2439001 でご注文ください。

目 次

はじめに	
サービスと保証について	
目 次	1
1 安全作業のための心得	2
2 安全標識貼付位置	6
3 各部の名称	7
4 作業前の注意	9
5 作業前の点検	10
6 ドラムローターの組立て	11
7 バッテリーの点検	12
8 運転操作上の注意	13
9 操作方法 1) エンジンの始動方法	14
10 変速レバーとクラッチ操作	15
1) チェンジレバーの操作	〃
2) ロータリーチェンジレバーの操作	〃
3) 主クラッチレバーの操作	〃
4) サイドクラッチレバー	16
5) ハンドルの調整	〃
6) ロータリーカバーの調整	〃
7) 前輪の調節	〃
11 SRV4FX、クロスセンターの給油	17
12 各種アタッチメントと作業方法	18
1) 溝掘セット30B 2) 溝掘セット30E (クロスセンター用)	〃
3) らせん犁による培土と溝の埋戻し	19
4) デスクローターによる畦作り	〃
5) SRV4FXデスクローター 6) 中耕、除草、補助ドラムと延長カバー	〃
7) 畦立マルチセット	20
13 点検整備	21
1) リコイルスターターの掃除	〃
2) ストレーナーの掃除	〃
3) ドラムローターの掃除	〃
4) Vベルトとベルト押え 5) 格納のしかた	〃
14 配線図 1) セルスターター仕様 2) 標準仕様	22
15 仕様	23
16 附属品明細表、消耗部品一覧表	24
●安全説明確認カード	

1 安全作業のための心得

■本機を使用するにあたって

使用する人の条件

次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 子供の方
- 取扱方法を熟知していない人



使用する人の服装

機械に巻き込まれる事故を予防するため、はち巻き・首巻き・腰タオルをしないでください。また、滑って転倒する事故を予防するため、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、たぶつきの無い服装をしてください。



機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



機械の改造厳禁

純正部品や指定以外のアタッチメントを取付けないでください。また、機械を改造しないでください。



■点検整備をしてください

1年毎に定期点検整備を

機械の整備不良による不具合や事故を予防するために、1年毎に定期点検・整備を受け各部の保守をしてください。特に燃料パイプや電気配線は、2年毎に交換して、機械が最良の状態、安全に作業ができるようにしましょう。



点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備をおこなってください。特に、クラッチ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備してください。



■点検整備をしてください

点検・整備・掃除をするときは

点検・整備、またはアタッチメントの脱着・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所を選び、エンジンを止めてください。また、誤ってエンジンが始動することのないよう燃料コックを閉にし、完全な停止状態で過熱部分が十分に冷めていることを確認してからおこなってください。



排気ガスには十分に注意

屋内などでエンジンを始動する場合、排気ガスによる中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でおこなうようにし、十分に換気をおこなってください。



カバー類は必ず取付ける

ベルトカバーなどの防護装置を外す場合は、必ずエンジンを止め、完全な停止状態を確認してからおこなってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。



給油・注油するときは

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、火傷や火災の危険がありますので絶対に給油・注油をしないでください。また、給油中はタバコや裸火照明などの火気は厳禁です。



長期格納するときは

火災などを予防すると共に、燃料の変質による不具合を防止するために、燃料タンク・気化器内の燃料を抜き出し、バッテリーを取外して保管してください。



人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

エンジンの始動や発進するときには

クラッチを [切] り、変速レバーを [中立] にし、周囲の人に合図してからエンジンを始動してください。周囲の人に危害を加えたり転倒や衝突したりしないように周囲の安全を確かめ、急発進しないように徐々に発進してください。

■作業・移動をするとき

二人以上で作業するときには

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

ベルトを交換したり、爪を交換するときや、巻き付いた草などを取除くときは

必ずエンジンを止めてからおこなってください。



回転している爪には十分気をつけて

回転する爪に巻き込まれると重傷を負うことがあります。特にロータ作業では、ロータ部を持上げて旋回するので足元には十分に気をつけてください。



ロータリ作業や車軸作業では機械の飛び出し(ダッシュ)に注意

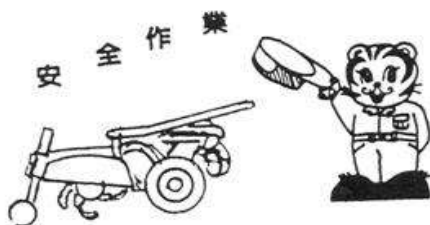
ロータリ作業や車軸作業中、地面が固かったり石を噛んだ場合、またはロータリを急激に地面に降ろしたりすると、回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す(ダッシュ)ことがありますので十分に注意してください。

特に、川や崖、人のいる方向に飛び出す(ダッシュ)と、転落や人身事故を招く恐れがあります。



機械から離れるときには

機械から離れるときには、平坦で安定した場所におき、エンジンを止め、各部が完全な停止状態になっていることを確認してください。やむを得ず傾斜地に置くときは、必ず車止めをしてください。



後進しながら作業するときは

転倒しないように足元に十分に注意し、後方に障害物がないか確認して後方の障害物と本機との間に挟まれないようにしてください。特に、ハウス内では、壁や支柱との間に挟まれたりすることの無いようにしてください。

ロータ部が作業者の直前に来るような後退作業は危険です。ハンドルを180°回転して作業をしてください。

後進作業は足元に注意して!



■作業・移動をするとき

移動するときは

坂道・凸凹の激しい道・曲がり角・そばに溝がある道・路肩の弱い道などでは、スピードを落とし、最も安全に通行できる場所を選んで通ってください。

また、焚き火や排ワラを燃やしている近くは走行しないでください。事故や火災の原因となります。



急な発進・停止・旋回、スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますのでおこなわないでください。



わき見運転・片手運転禁止

ハンドルやクラッチは正しく操作し、わき見や片手での運転はしないでください。



坂道では

坂道では、操向クラッチレバーを操作すると、機械が思わぬ方向に旋回してしまうことがありますので操向クラッチレバーを使わないでハンドルを振って方向転換をしてください。

坂道での方向転換はハンドルを振ってネ



溝や畦を横断したり、軟弱な場所を通るときには

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で操向クラッチレバーを使わずに通ってください。

もし、落ち込んだ場合には、無理に脱出しようとせず、先ず状況判断して適切な処置を巧んでください。



トラックなどに積み込み・積降しするときは

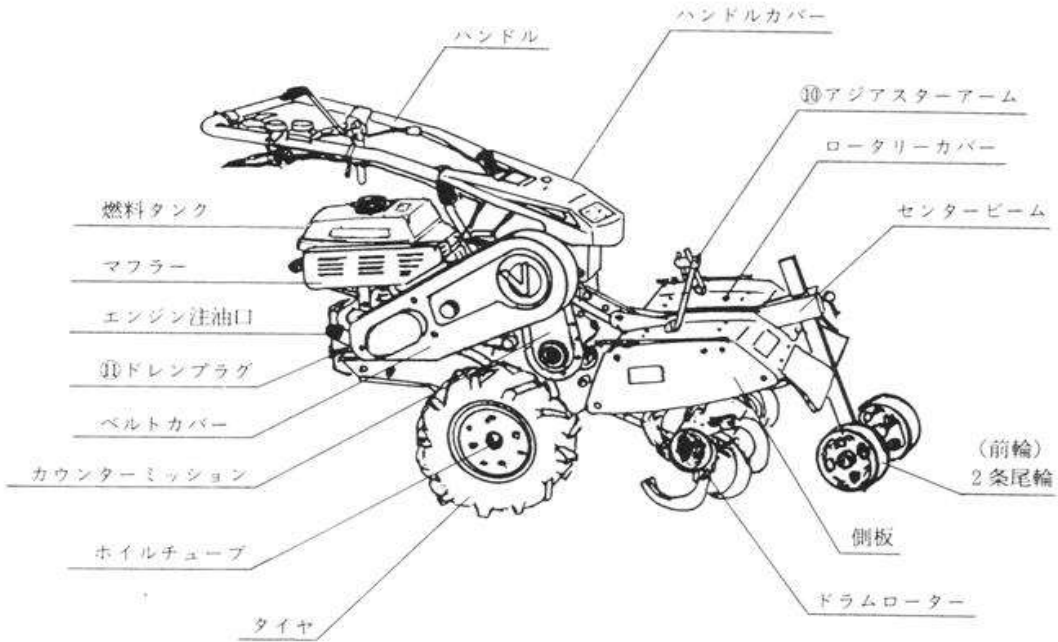
平坦で交通の安全な場所で、トラックなどが移動しないようにエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをし、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で操向クラッチレバーを使わずにおこなってください。

また、登るときには前進、降りるときには後進でおこなってください。さらに、積込んだときには、本機に備止めをし、十分に強度あるロープでトラックに確実に固定してください。

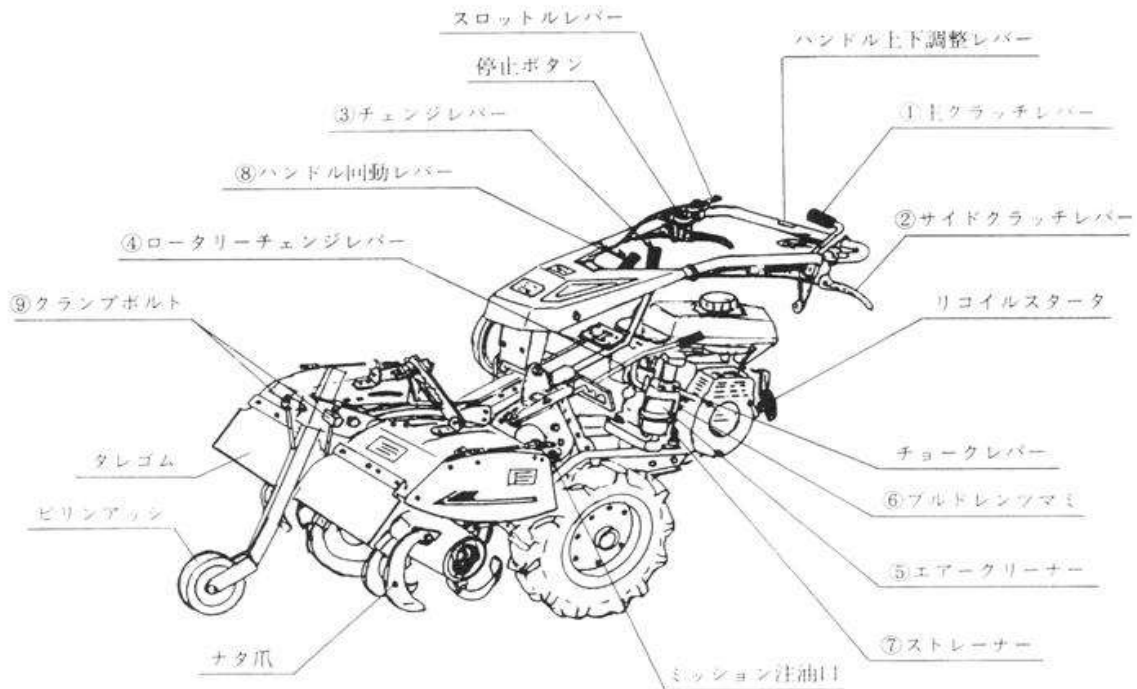


3 各部の名称

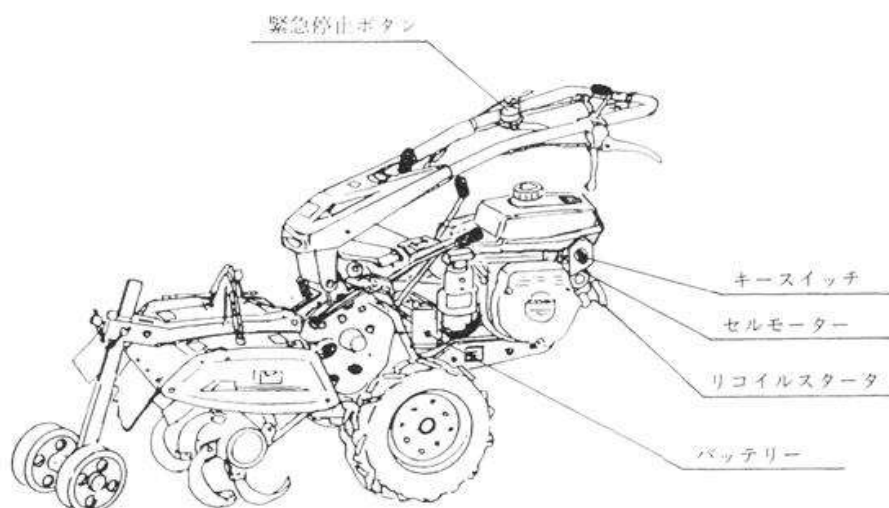
SRV4F



SRV4FX



SRV4FA
SRV4FAX



名 称	機 能 と 操 作
① 主クラッチレバー	前方に倒すとクラッチが入り、進行し手前に引くと切れます。
② サイドクラッチレバー	レバーを握った方向が動力が切れ方向変換が出来ます。
③ チェンジレバー	変速レバーでそれぞれの位置に入れて作業を行います。
④ ロータリーチェンジレバー	ロータリーの回転が変わります。ロータリーを回転させると軽く入ります。
⑤ エアークリーナー	エンジンのシリンダーの摩耗防止のための濾過装置です。
⑥ ブルードレンツマミ	格納時にエンジンのキャブレター内の燃料が引くと抜取れる。
⑦ ストレーナー	燃料タンクからキャブレターの間のゴミ、水滴を取除く容器
⑧ ハンドル回動レバー	下に押し下げてハンドルを左右に押す。左右15° - 19° になる。
⑨ クランプボルト	前輪高さ調整ボルトで前輪を上げると深くなり作業時調整
⑩ アジャストアーム	溝掘り作業時等にカバーを開閉し土の飛びを調整する。
⑪ ドレンプラグ	エンジンオイル交換時の排油口ネジで12mmスパナ使用。

4 作業前の注意

作業前には必ず次の点検をおこなってください。

危険

- 燃料補給時は、くわえタバコや裸火照明を絶対にしないでください。火災を起こす危険があります。

警告

- 点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止させ、過熱部分が冷めてから行ってください。
- エンジンが熱い間は、注油・給油は絶対にしないでください。やけどや火災の恐れがあります。
- 燃料を補給したあとは、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭きとってください。

- エンジンオイルは入っておりません。オイルの入れ方は(10頁・2、のエンジンオイルの点検)参照。
- 梱包及び輸送の関係でバッテリーに液が入っておりません。開梱したら付属のバッテリー液をバッテリーに注入してください。(12頁バッテリーの点検)参照。
- ミッションオイル燃料の点検、補給をおこなってください。
- 各作業部へ注入やグリスアップをし、各部が正しく作動する事を確認してください。
- ベルトの摩耗や損傷がないか確認してください。
- 各部のボルト、ナット類のゆるみ、脱落の有無を点検し、10~20時間で各部の増締めをしてください。
- チェンジレバー、クラッチレバーアクセルレバー、チョークレバー等の各レバーが正しく作動する事を確認してください。

5 作業前の点検

作業前には必ず次の点検をおこなってください。

運転前に!!

1. ミッションオイルの点検

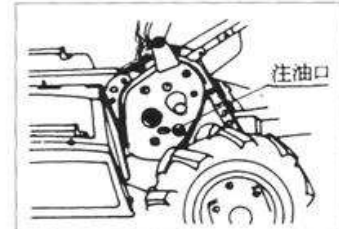
ミッションオイルは工場より出荷時に入れてありますが、今一度注油口の蓋を外して確かめて下さい。

口元まで入っていない場合は補給して下さい。

ミッションオイルの種類 SAE #90のギヤーオイルを使用
油量、3.0ℓ

交換時期 初回：4～5ヵ月後／2回目以後：200時間毎

(第1図)



2. エンジンオイルの点検 (第2図)

エンジンを水平にして正規油面まで補給して下さい。

エンジンオイルの種類 春～秋：SAE #30／冬：SAE #20
油量 0.7ℓ

[注意] 規定より多過ぎるとオイルがブリーザを通りキャブ側に入り
エンジン不調の原因となります。

エンジンオイルの交換

初期…………… 25時間

第2回目…………… 50時間

第3回目以降100時間毎

(第2図)

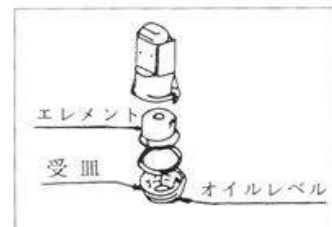


3. エアークリーナーの手入れ (第3図)

オイルバス式ですから運転前に必ずオイル受皿にオイルレベル迄エンジンオイルを入れて下さい。

オイルレベルよりも多く入ると吸入効率が悪くなり、出力が低下します。

(第3図)

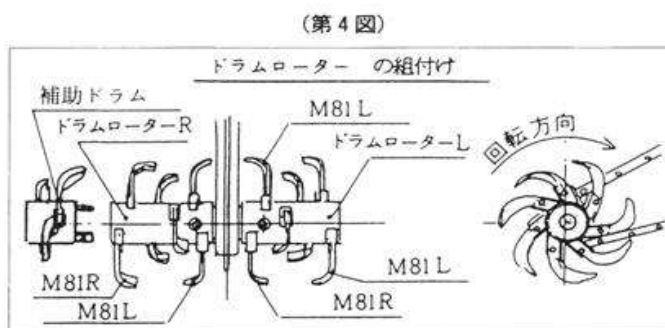


6 ドラムローターの組立て

- 1 ドラムローターのナタ爪は（第4図）の如く1番内側の爪は外向きにその外は全て内向きにセットして下さい。爪に刻印あり、ボルトは確実に締付けて下さい。ドラムの左右はハンドル側より見ての状態です。

オプション部品

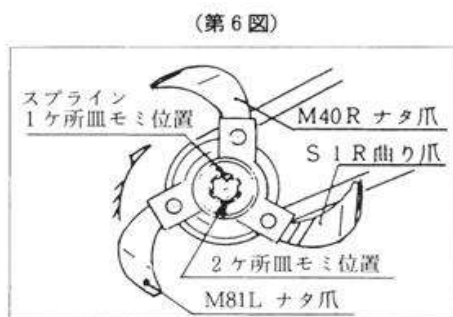
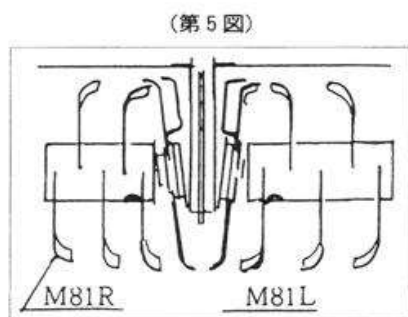
オプション部品として補助ドラムと延長カバーがあります。補助ドラムをセットすると、作業幅は90cmとなります。爪の位置が接近しないようにセットして下さい。



SRV4FX

SRV4FAX クロスセンター・ドラムローターの組立て

ドラムローターはクロスセンター方式ですからクロス部分の刃受とドラムのセット位置及び爪の取付が合っていないと残耕が出来たり、刃受部分が接触したりして回転不良となりますので必ず（第5図）の如く組み付けて下さい。



クロスセンター部は軸の皿モミ位置を基準にして曲り爪とM40、M81L等図の位置に組み付けて下さい。（摩耗した場合の補修も同じ）爪の取付穴の所に打刻してあります。ドラムの取付けは（第6図）の如く皿モミ位置に合わせて押ボルトが合うようにセットして下さい。

クロスセンターのスプライン軸には皿モミが1カ所と2カ所の所があります。ドラムローターのセットボルトの位置は2カ皿モミの内側に合せてセットして下さい。2カ所の皿モミの外側は溝掘刃受セット時です。

7 バッテリーの点検

SRV4FA ★セルモーター付エンジンを搭載した本機においては、梱包、輸送の関係でバッテリー液は入っておりません。開梱したら付属のバッテリー液をバッテリーに注入して下さい。液面レベルの上限、下限の間まで入っているか確認して下さい。

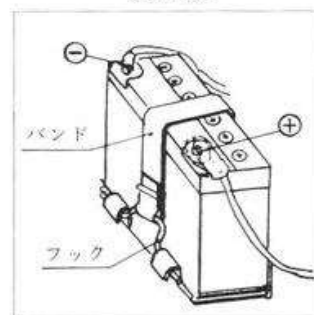
バッテリーの取出しはフックを外すと少し傾斜させると取出せます。取付時に液をこぼさないよう注意して下さい。液を注入後暫く退去すれば使用出来ます。

端子を外す場合は⊖から取外して下さい。

バッテリー液が少ない場合は、バッテリー補充液を補充して下さい。

寒冷地などの気温の低い地域またエンジンの始動がしにくくなったりしましたら、充電をおこないます。また、本機を2週間以上運転しないとバッテリーが放電してセル始動ができない場合があります。このときにも、充電をしてください。本機を長時間使用しないときは、最低1カ月に1回は充電をおこなってください。バッテリーが長持ちします。またバッテリー液量も点検してください。

(第7図)



※バッテリー補充液はガソリンスタンド等で販売しています。



危険：バッテリー液をバッテリーケース液面レベルの上限を超えるほど入れますと使用中に液もれし本機を腐蝕させることがありますので、補給するときは液面レベル上限を超えないよう注意してください。

バッテリー液は希硫酸ですので身体や服に付けないようにしてください。もし身体や服に付いたときは、すぐに水洗いしてください。

2. 充電のしかた

- ① バッテリーキャップを全部外してください。
- ② バッテリー液が液面レベルの上限と下限の間にあるか確認して、少ない場合はバッテリー補充液を補充してください。
- ③ 急速充電は避けて普通充電をおこなってください。
- ④ バッテリーの⊕を充電器の⊕に接続してください。
- ⑤ バッテリーの⊖を充電器の⊖に接続してください。
- ⑥ 充電中のタバコ等の火気は近づけないでください。



8 運転操作上の注意



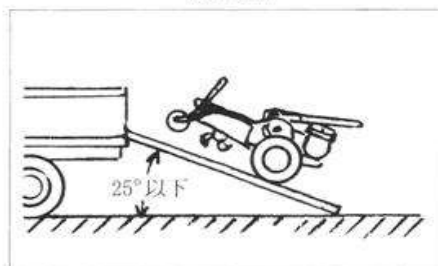
車への積み降し時の注意

- 1) ロータリーは必ず停止の状態で行って下さい。
- 2) 平坦な所で行って下さい。傾斜地は危険
- 3) アユミ板はスベリ止めのある丈夫なもので傾斜が25°以下のものを使用して下さい。(第7図)
- 4) 雨やぬかるみ等スベリやすい所では足元に注意
- 5) 積み降しはエンジンを掛けて

→ 低速で積み込み
→ 後進で降す。

 車はサイドブレーキを確実にかけておく事。

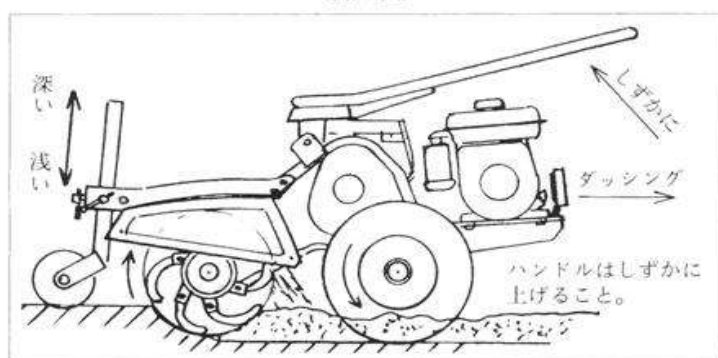
(第7図)



作業時のハンドル操作

前輪の上下によって作業深さが変わります。ロータリー側を下げる時はハンドルをしずかにあげて下さい。硬い圃場で急にハンドルをあげると、ロータリーの爪の反力で機体が押戻され怪我をするおそれがあり危険です。(第8図)

(第8図)



傾斜地作業時の注意

傾斜地・ガケ際等では旋回時や上下方向の停止に注意して下さい。特に8°以上の傾斜では等交線に作業を行い、15°以上の傾斜では異径車輪山側を350-5 (308φ) 谷側を350-7 (330φ) に交換して、等交線を前進・後進で作業すると本機はいつも山側に向かって進行し安定した作業が行えます。(但し旋回は出来ません。逆になりますから)

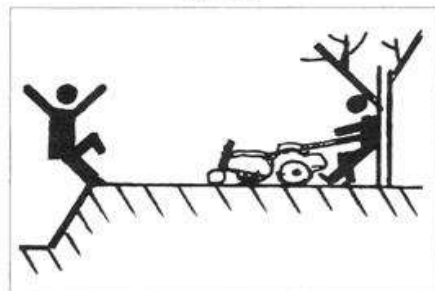
(第9図)



枝下作業・段差のある所注意

枝下作業では頭部に注意ヘルメットの着用をお勧めします。バック作業時は特に後方に注意して安全に心掛けて下さい。いつでも停止出来るようにガケ下等段差のある所では転落しないようにバック作業はさけて下さい。(第10図)

(第10図)



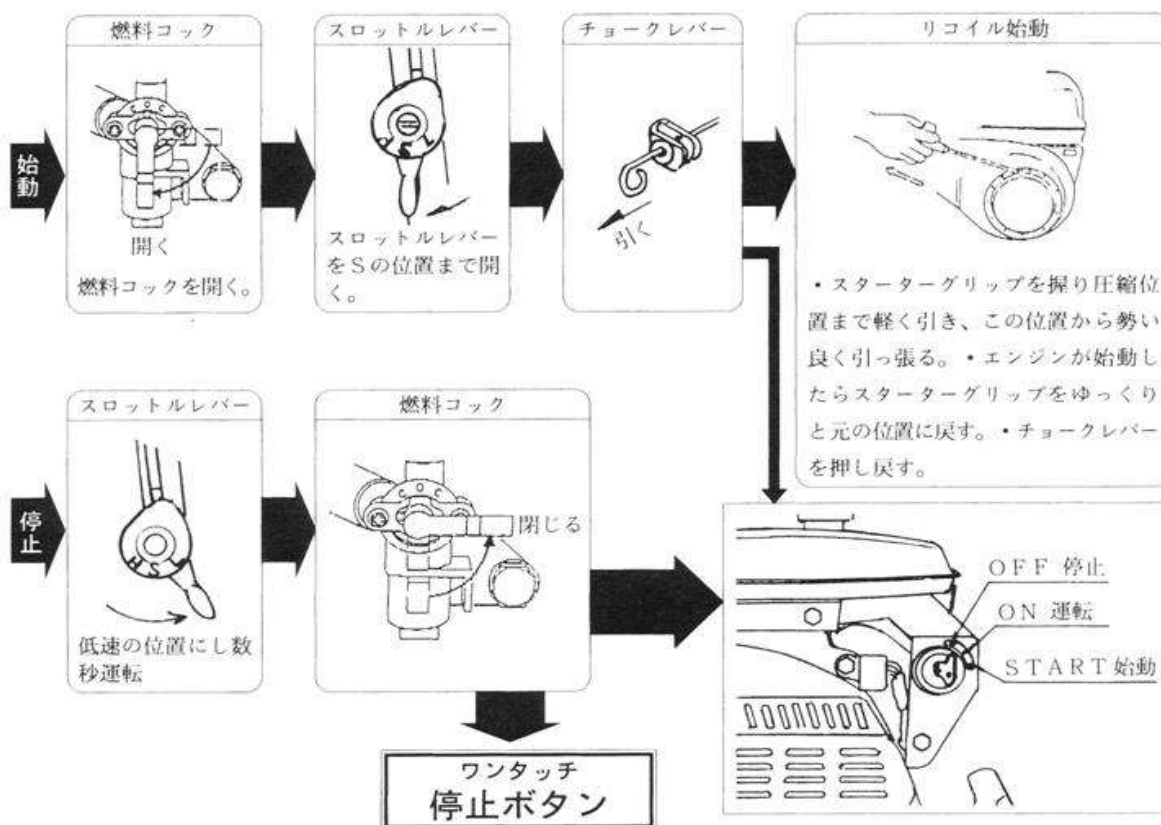
9 操作方法



注意：廻りの安全を確認してください。排気ガスのたまり易い所では換気に注意してください。

1. エンジンの始動方法

① チェンジレバーを中立（N）の位置にします。



注意



- ★セルモーター付エンジンを搭載した本機においては、緊急停止ボタンを押すと停止しますが、エンジン停止した後、必ずメインスイッチを停止の位置にしておいてください。バッテリーが放電してセルスタートができなくなる場合があります。
- ★コックを開いた状態で保管したり、前に倒れたり、また車両で運搬すると、エンジン始動が困難となることがあります。

10 変速レバーとクラッチ操作

1) チェンジレバーの操作

エンジンを始動する場合は必ずチェンジレバーをニュートラル(中立)位置にしてください。

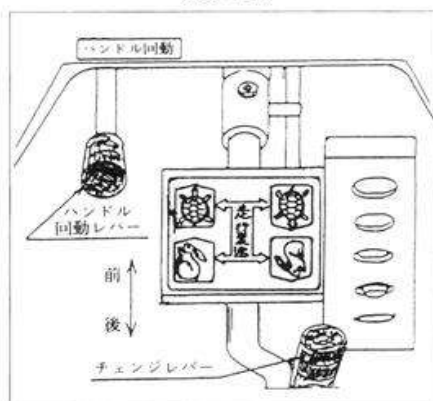
レバーが前後に移動出来る位置がニュートラルです。レバーを押して左が(低)右が(後)です。レバーを引いてウサギマーク右が(高後進)左が高前進です。チェンジレバーの(低)↔(後)は主クラッチを切らないでも操作は出来ます。変速して高速側に操作時は主クラッチを一旦切ってから行なって下さい。

[注意] 高速でのバック時は後方に充分注意して下さい。

ハンドルの左右回動の場合

回動レバーを上から強く押してレバーが下った状態でハンドルを左右に移動可能です。

(第11図)



2) ロータリーチェンジレバー操作

ハンドル上下レバーを握りハンドルを上から操作して下さい。

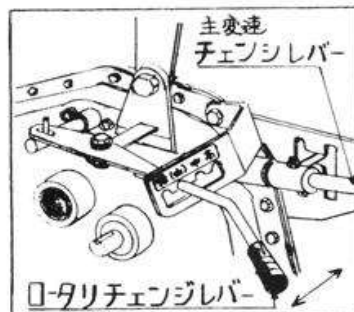
半クラッチ操作で行うと簡単に入ります。

歯車の噛合位置が合っている場合はそのまま入ります。

ロータリー回転と適応作業

各機種共通	作業
187 rpm	耕耘、らせん
310 rpm	中耕ドラム
517 rpm	溝掘作業

(第12図)

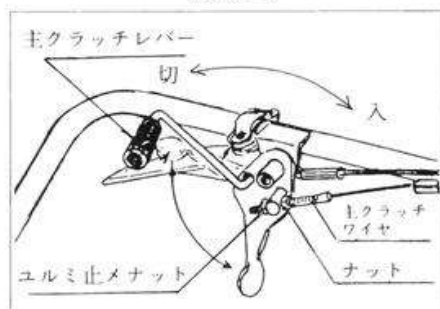


3) 主クラッチレバーの操作

主クラッチレバーは前に押しとクラッチが入り手前に引くと切れます。スタートはしずかに入れて下さい。切る時切マークを指で押しても切れます。バック作業時はいつでもクラッチが切れるよう、心掛けて下さい。

テンション方式です。ベルトがスリップする様な場合は(第13図)のナットをゆるめユルミ止メナットを締め込みますと、ベルトを強く張ることになります。[注意] ベルトを張り過ぎるとクラッチを切った状態で停止しなくなり危険です。

(第13図)

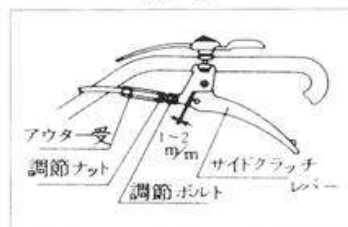


4) サイドクラッチレバー

レバーを握るとサイドクラッチが切れ、放すとクラッチが入ります。

ワイヤーが伸びた場合は調節ナットを緩め、調節ボルトを廻し、レバーの遊びが1～2mmになる様に調節し、ロックして下さい。アウタ長さを変えて行います。(第14図)

(第14図)



5) ハンドルの調整

ハンドルの操作は上下及び左右に移動が可能です。ハンドルの高さは身長に合わせて調整して下さい。レバーを握り作業に合った位置で御使用下さい。左右回動はハンドル回動レバーを下方向に押して(強く押す)ハンドルを横方向に移動して下さい。

左右2段階 0→15°→19°に調整可能です。(第15図)

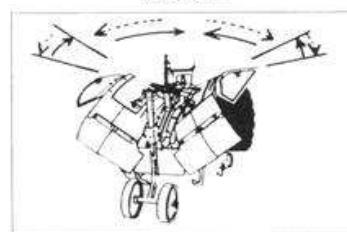
(第15図)



6) ロータリーカバーの調整 (第16図)

ロータリーカバーは作業により上下に調節して下さい。土を横に出したい場合や補助カバーが欲しい場合等は側板を開いて御使用下さい。オプションとして延長カバーも用意してあります。

(第16図)



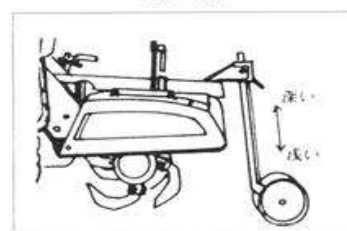
7) 前輪の調節 (第17図)

前輪を上下することにより作業深さを変えることができます。

前輪を上げる → 耕深が深い。

“ 下げる → “ 浅い。

(第17図)



注意



硬い圃場や石のある所では前輪を上げ過ぎたり、ロータリー側を急激に降すとロータリーの爪の反力で機械が後方に押戻される事があり危険です。硬い圃場ではロータリー側を下げる時はしずかに降して下さい。(ハンドルを低目にセットしてしずかにあげる事)

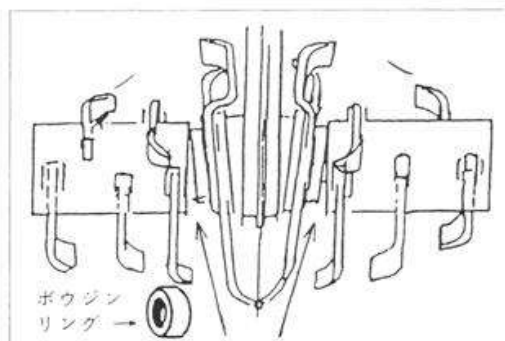
11 SRV4FX クロスセンターの給油

1) ボウジンリングについて

クロスセンターには耕転軸とドラムローターとの間にボウジンリング（ゴムリング）が入っています。ドラムとクロス刃受との間に泥の進入防止のためです。ロータリー軸が重くなりましたらドラムローターを外して掃除して下さい。溝掘刃受等をセットの場合は不要です。ドラム側に取付けておいて下さい。（第18図）

取外しは附属工具のボックスレンチ17でドラムのロックナットをゆるめ、13でセットボルトをゆるめて下さい。組受けは皿モミ位置に合わせて確実に締付けて下さい。

(第18図)



2) クロスセンター・グリース給油のお願い

本機はロータリー部がクロスセンター方式（残耕ゼロ）になっています。いつまでも調子良く御使用頂くために、次の要領で定期的に給油して下さい。

グリースの給油 年1回又は100時間程度

本機はミッション内とクロス刃受部とは仕切られており、歯車伝導になっています。

グリース給油方式

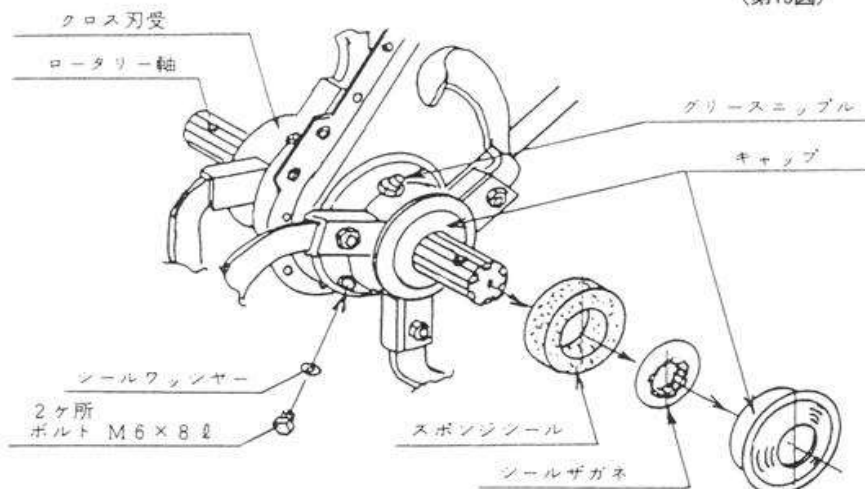
1. 左右ドラムローターのセットボルトを弛め、ドラムを外します。
2. クロス刃受のフランジ部2カ所のボルトを外し、1カ所にグリースニップルを取付けて下さい。
3. グリースポンプでグリース（軟らかい物）シャーシーグリースを給油し、一方の穴からグリースが出て来たらグリースニップルを外して、2カ所共ボルト締めをして下さい。左右同じ方法です。

（下図参照）

側面キャップの取外しとグリース注入

クロス刃受とキャップのスキマをドライバー等で2～3カ所軽く打くと、キャップが外れます。内側を掃除後、スポンジシール及び中のギヤーにグリースを塗付して、キャップを圧入（軽く打つ）して下さい。

(第19図)

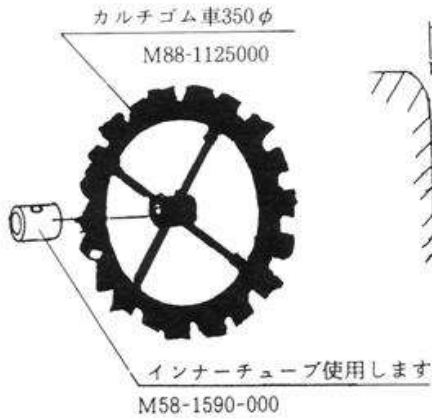


12 各種アタッチメントと作業方法

1) 溝掘セット30B 註] 本品ハ特ニイチゴ、ハウスの床作りニ最適

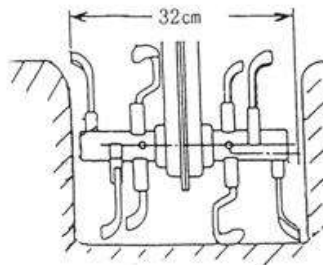
溝掘作業はドラムローターを外して、溝掘刃受30をセット、タイヤを外して、カルチ車輪をセット、カバーをV形にすることで溝掘作業ができます。(イチゴの床作り、ハウス内の床作り等) 又、支柱際やハウス際で片寄せの場合も刃受の交換で簡単に片排土ができます。溝掘刃受は45cm幅まで揃っています。

(第19図)

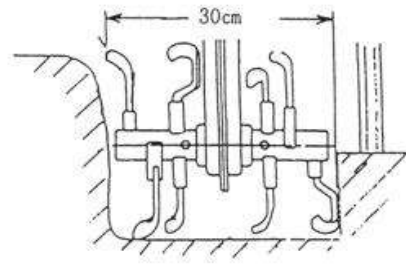


カルチ車輪、鉄車輪の代わりにカルチゴム車があります。
移動時に振動が無く便利です。

(第20図)



センター割り
C-01, 1542-001



片排土

溝掘セット仕組

S R V 4 V用31A	コードNo.	CO 1-1505002
" 31B	" No.	CO 1-1506002
S R V 4 V X用34cm	" No.	CO 1-1555000

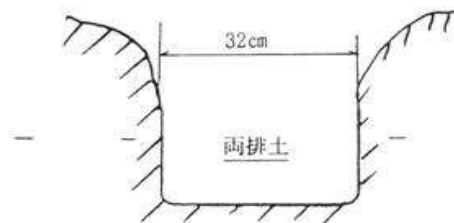
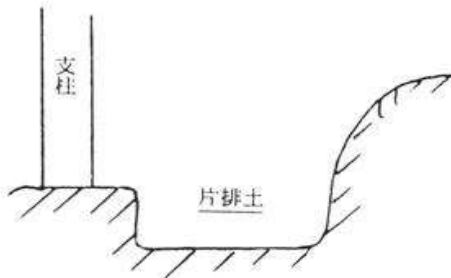
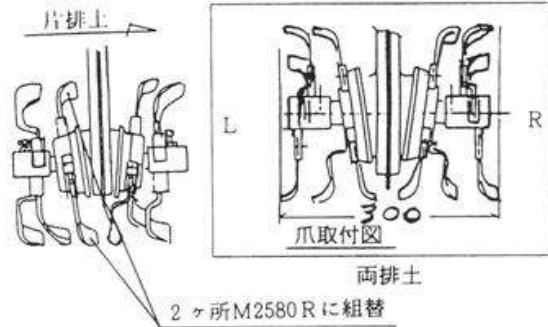
2) 溝掘セット30E [クロスセンター用]

クロス部1カ所は内向き、曲り爪と1カ所は外向きにセット。刃受は外曲りにセットします。(第21図)

片排土作業時

片側の刃受ノミ交換し、クロス部の2カ所の刃を図の如く取替えます。

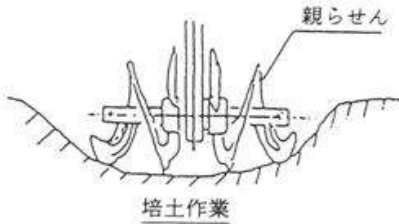
(第21図)



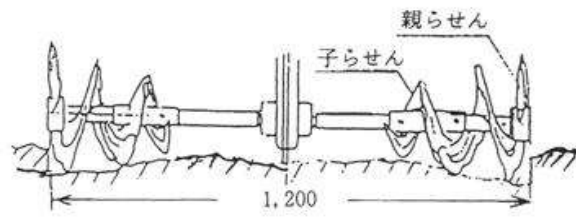
3) らせん犁による培土と溝の埋戻し

桑園の管理、果樹園等の幅の広い畦間の助走培土時は、らせん犁（親）を使用します。らせんチューブを取付け、らせん犁をセットします。らせん犁は回転方向が決まっていますので方向に注意して下さい。

堆肥等を入れた後の堆戻しは、らせん犁の〔親・子〕を使用、左右を入替えて使用します。



らせん犁（親子）コードNo.C47-1502-000

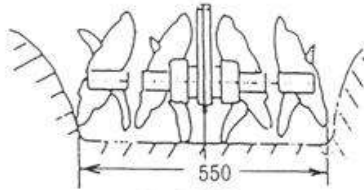


埋戻し作業

SRV4V用らせんチューブ C47-1502000
SRV4VX用らせんチューブ C47-2502000

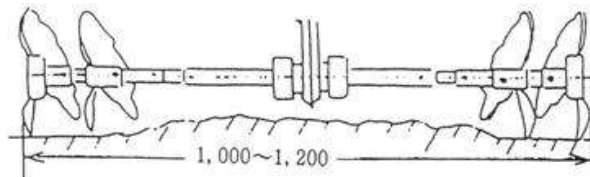
4) デスクローターによる畦作り

キュウリ、メロン、スイカ等広幅溝のベッド作りには、デスクローター4連又は6連をセットして作業します。ドラムを外しらせんチューブを取付けデスクローターをセットして行ないます。埋戻しは延長チューブを追加しデスクローターを左右入替えてセットします。



デスクローター4速（両排）コードNo.C46-1503-000

溝掘床作り



埋戻し畦崩し

5) SRV4FXデスクローター

ハウス内の床作り作業

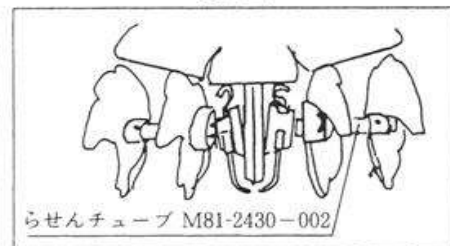
デスクローター2速又は4速セットで床作りが出来ます。クロス刃受部は現状のままです。らせんチューブを使用します。（第22図）チューブは本機専用部品です。

デスクローター2速 コードNo.C46-1002-000

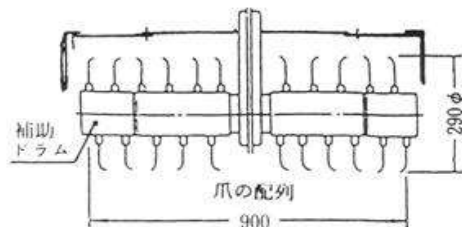
デスクローター4速（両排）コードNo.C46-1003-000

デスクローター2速（片排）コードNo.C46-1004-000

（第22図）



（第23図）



補助ドラム付の場合

6) 中耕、除草、補助ドラムと延長カバー

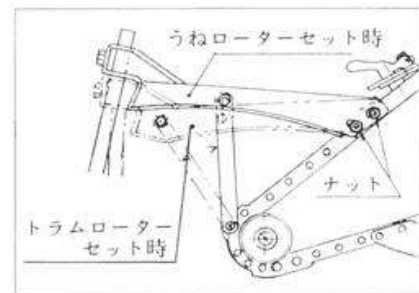
本機の標準装備はドラムローターで50cm幅です。逆転自走で雑草の中でも巻付が少なく、草を押込み表面に細かい土をかけて天地替えて行きますので、草の伸びが抑えられます。補助ドラムと補助カバーを追加することにより条件によって80cm幅で作業が行え大変能率的です。補助カバーは本体カバーと側板の間に入れる様に組付けます。

7) うね立、マルチセット

本機にうねローター、成形器、マルチをセットするとうね立て同時マルチ作業が出来ます。詳しい事は御購入先の農協、販売店又は弊社営業所に照会下さい。

うねローター及び成形器をセットの場合は、ロータリービームの角度を変更（ビームアップ）が必要です。カマボコ畦を作るために成形器の取付上、高さが必要なためです。2ヶ所のナットを弛めてステーの取付位置を変えることによりビームアップ出来ます。

(第23図)



	うね形状・寸法(単位mm)	ローター	整形器	(組合せ)マルチ																								
高うね	<table border="1"> <tr><td>高さ(a)</td><td>300~380</td></tr> <tr><td>スジ幅(b)</td><td>650~800</td></tr> <tr><td>ビニール幅</td><td>1200~1350</td></tr> </table>	高さ(a)	300~380	スジ幅(b)	650~800	ビニール幅	1200~1350	A型ハイローター 	A2型整形器 樹脂つき整形器です。	ハイマルチ・R5S型 																		
高さ(a)	300~380																											
スジ幅(b)	650~800																											
ビニール幅	1200~1350																											
高うね	<table border="1"> <tr><td>高さ(a)</td><td>250~320</td></tr> <tr><td>スジ幅(b)</td><td>500~700</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>950~1200</td></tr> </table>	高さ(a)	250~320	スジ幅(b)	500~700	適用ビニールシート幅	950~1200	B2型ハイローター(タバコ向) 	B2型整形器 	ハイマルチ・RSS型 																		
高さ(a)	250~320																											
スジ幅(b)	500~700																											
適用ビニールシート幅	950~1200																											
平高うね	<table border="1"> <tr><td></td><td>E-15</td><td>E-18</td></tr> <tr><td>高さ(a)</td><td>200 250 300</td><td>200 250 300</td></tr> <tr><td>幅(b)</td><td>500</td><td>500</td></tr> <tr><td>スジ幅(c)</td><td>900</td><td>1200</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>750</td><td>750</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>1150</td><td>1450</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>1100</td><td>1100</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>1500</td><td>1800</td></tr> </table>		E-15	E-18	高さ(a)	200 250 300	200 250 300	幅(b)	500	500	スジ幅(c)	900	1200	適用ビニールシート幅	750	750	適用ビニールシート幅	1150	1450	適用ビニールシート幅	1100	1100	適用ビニールシート幅	1500	1800	平高うねローター E-15 E-18 	平高うね整形器 E-15 E-18 	ハイマルチ・R7型
	E-15	E-18																										
高さ(a)	200 250 300	200 250 300																										
幅(b)	500	500																										
スジ幅(c)	900	1200																										
適用ビニールシート幅	750	750																										
適用ビニールシート幅	1150	1450																										
適用ビニールシート幅	1100	1100																										
適用ビニールシート幅	1500	1800																										
平うね	<table border="1"> <tr><td></td><td>F-12</td><td>F-15</td><td>F-18</td></tr> <tr><td>高さ(a)</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td></td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td></td><td>150</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>750</td><td>950</td><td>950</td></tr> <tr><td>適用ビニールシート幅</td><td>1200</td><td>1500</td><td>1800</td></tr> </table>		F-12	F-15	F-18	高さ(a)	50	50	50		100	100	100		150	150	150	適用ビニールシート幅	750	950	950	適用ビニールシート幅	1200	1500	1800	平うねローター F-12 F-15 F-18 	平うね整形マルチ F-12 F-15 F-18 	※平うね整形マルチ(F型)にはマルチが組込みになっています。
	F-12	F-15	F-18																									
高さ(a)	50	50	50																									
	100	100	100																									
	150	150	150																									
適用ビニールシート幅	750	950	950																									
適用ビニールシート幅	1200	1500	1800																									

13 点検・整備

1) リコイルスターターの掃除

ホコリの多い所で長期間使用しますと、リコイルスターターのロープの戻りが悪くなる事があります。

リコイルスターター本体の3カ所のボルトを外しリコイルの内側の軸部を掃除して、オイルを注油して下さい。(第24図) ロープを引き戻して注油する。組付時は3カ所のボルトは確実に締付けて下さい。

2) ストレナーの掃除

ストレナーのカップにゴミや水滴が溜ったらカップを外して掃除して下さい。

3) ドラムローターの掃除

雑草の中を中耕除草しますと草やビニール等が巻込まれケースとドラム内側に巻付きます。

ドラムのセットボルトをゆるめドラムを外してゴミ等を取除いて下さい。(組付前にスプライン部にオイルを注油)

ドラムのセット時は必ずスプラインの皿モミの位置とドラムのセットボルト位置を合せて、セットボルトを確実に締付け後ロックナットを締めて下さい。

4) Vベルトとベルト押え

Vベルトが伸びてベルトのスリップが発生した場合はハンドル側ワイヤー調整を行います。(15ページ参照)

ベルトのタルミが多い場合はエンジン位置を前に移動が必要ですがベルトを張り過ぎるとクラッチが切れません。

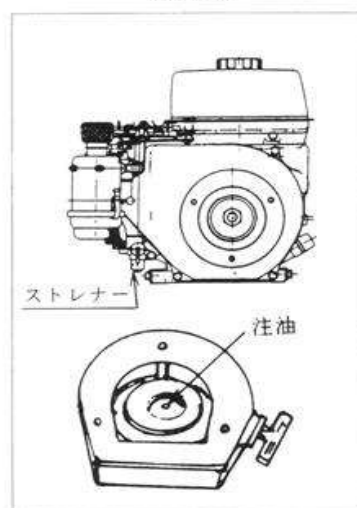
〔注意〕

ベルトは張り過ぎないように。主クラッチを(入)の状態ではベルトの上下が平行よりやや広い $3\sim 5^\circ$ の状態ではベルト外周とベルト押えのスキマが $3\sim 5\text{mm}$ に調整して下さい。(第26図)参照 ベルトサイズはSA44付 2本掛けです。

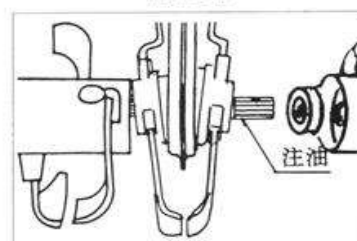
5) 格納のしかた

- 本機の掃除、洗浄注油、洗浄後は良くふき取して下さい。
- エンジンのキャブレター内に燃料が残らないよう早目にコックを締めて空運転させて止めて下さい。
長期保管の場合は燃料タンク内のガソリンも抜取して下さい。
- チェンジレバー位置は(止)の位置にし主クラッチレバーは切の位置にして下さい。
- エンジンが停止後マフラーの温度が下がり冷却後シートカバー等をかけて下さい。
- エンジンについては別冊エンジン取扱説明書を必ずお読み下さい。

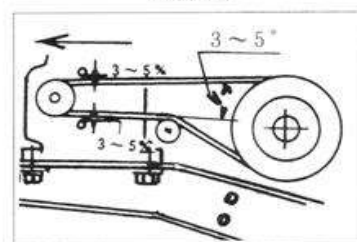
(第24図)



(第25図)

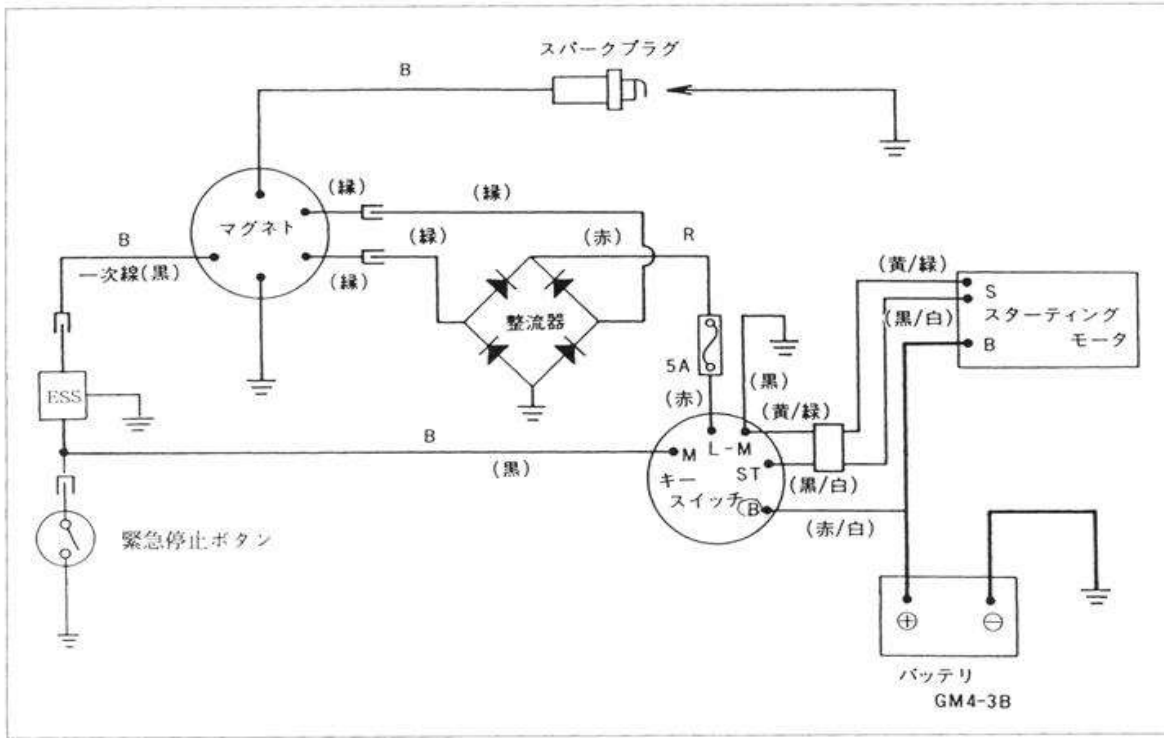


(第26図)

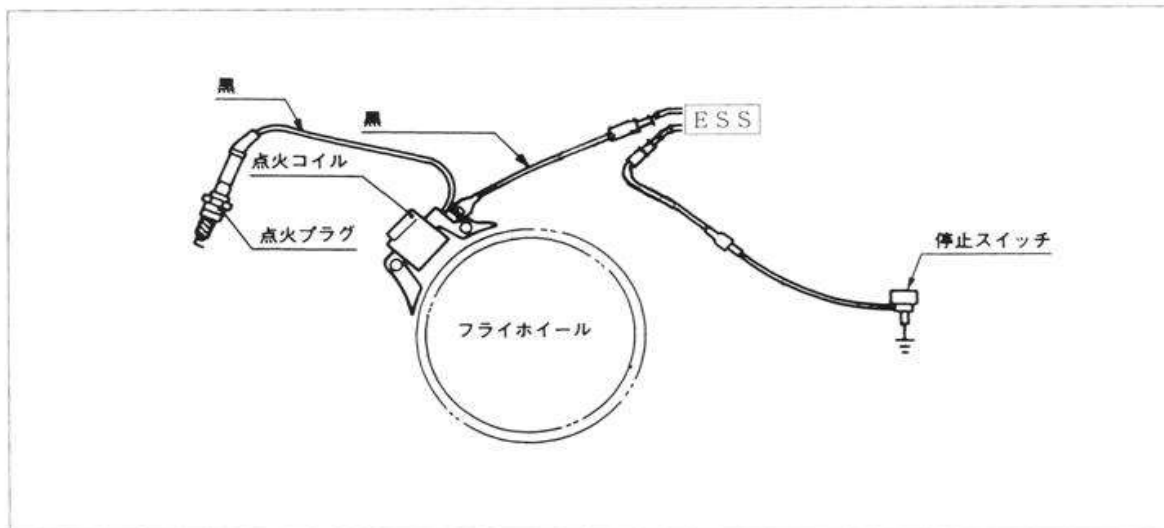


14 配線図

1) セルスターター仕様



2) 標準仕様



15 仕 様

名称 型式	マメトラSRV4D	←	←	←
型 式 区 分	SRV4F	SRV4FX	SRV4FA	SRV4FAX
寸 法	全 長 mm	1465~1575	←	←
	全 幅 mm	680	←	←
	全 高 mm	850~1,050	←	←
重 量 kg	115	127	126	137
主 ク ラ ッ チ	ベルトテンション式	←	←	←
変 速 段 数	前進2段、後進2段	←	←	←
ロ ー タ リ ー 変 速	3段	←	←	←
速 度	低 速 km/h	1.2	←	←
	高 速 km/h	3.0	←	←
	後 進 1 km/h	0.9	←	←
	後 進 2 km/h	2.8	←	←
ロ ー タ リ ー 回 転 数 rpm	187, 310, 517	←	←	←
ロ ー タ リ ー 方 式	センタードライブ	クロスセンタードライブ	センタードライブ	クロスセンタードライブ
作 業 幅	60	←	←	←
軸 間 距 離	335~605	←	←	←
タ イ ヤ (外 径)	400-7	←	←	←
伝 導 方 式	Vベルト・チェン・ギヤー	←	←	←
操 向 方 式	ドック式爪クラッチ	←	←	←
作業機と作業内容	ドラムローターによる中耕除草、耕耘刈受により耕耘 溝掘刈受による溝掘作業・デスクローターによる床作り ロータリー畦立同時マルチ作業 らせん犁による溝掘り覆土			
能 率	中 耕 除 草	果樹園の中耕除草作業 60分~80分/10a		
	溝 掘 作 業	条間120cm 深さ25cmとして40分~50分/10a		
エ ン ジ ン	型 式	メイキGM231L N-350	GM231LE-354	←
	形 式	空冷4サイクルOHVガソリンエンジン	←	←
	排 気 量 cc	215	←	←
	連 続 定 格 出 力	5.0ps/1,800rpm	←	←
	最 大 出 力	7.0ps/2,000rpm	←	←
	使 用 オ イ ル	SAE30# (冬期: 20#)	←	←
	始 動 方 式	リコイルスタータ	セルスターター	←
	使 用 燃 料 ・ タ ン ク 容 量	自動車用無鉛ガソリン 4ℓ	←	←
	点 火 プ ラ グ	NGK-BP・5ES, DENSO-W9	←	←
	バ ッ テ リ ー 型 名	なし	12N5.5-3B	←
燃 料 消 費 率	230g/ps.Hr.	←	←	

16 附属品明細表・消耗部品一覧表

附属部品

コード番号	品名	個数	備考
M40-4411-000	ボックススパナ 13×17	1	
9 TL-1701-900	スパナ 17×19	1	
M26-1111-000	シャジクピン	1	
9 RP-1023-003	Rピン	1	
M41-4412-001	ボックスレンチ 17	1	
FA2-1297-000	ソケットレンチ 160φ	1	
M40-0502-000	ドラムセットボルト	1	
9 NL-1000-003	ロックナット	1	
	エンジン取扱説明書	1	
KNL-3001-AA	スクリュードライバー	1	
M81-2439-001	本機取扱説明書	1	
111-1530-001	工具袋	1	

消耗部品一覧表

コード番号	品名	個数	備考
9 VA-0440-003	Vベルト LA-44	2	
M81-0719-000 M81-0739-000	メタ爪 M81L M81R	各7	
M81-2420-000 M81-2421-000	中耕ローター曲り爪 L R	各1	クロスセンター用
90S-3562-1914	オイルシール（車軸部）	2	
90S-3062-1415	〃（ローター部）	2	
M40-5131-000	ジク付シール	2	
M81-0280-000	スポンジシール	2	クロスセンター用
M81-2434-000	防塵リング	2	
M81-0819-000	テンションワイヤー	1	
M81-1011-000	サイドクラッチワイヤー	1	
M40-4312-000	スロットルワイヤー	1	
	その他 ゴム製品		